

やさしい中学公民 3-2 チェック問題 氏名

- (1) 13世紀のイギリスでは、憲法の元祖ともいえる国王の権力を制限するための〔① 〕を認めさせた。その後また国王が圧政を始めたので、1649年にキリスト教一派を中心に〔② 革命〕が起こった。またその後に王政に戻ったが、1688年〔③ 革命〕が起こり、1689年には王を処刑せずに新しい国王に〔④ 〕を認めさせた。
- (2) イギリスの思想家である〔① 〕は、社会契約説や抵抗権、天賦人権思想を主張し、学問の面から立憲主義を裏づけた。フランスの思想家〔② 〕は、『法の精神』の中で〔③ 〕を唱え、王の権力を制限しようとした。またフランスの思想家〔④ 〕は、国家権力の行使は国民の総意に基づくべきだと主張した。
- (3) イギリスはアメリカに作った植民地に重税を課すなど圧政を行ったため、1775年に独立戦争が起こった。1776年には〔① 宣言〕が発表された。フランスでは聖職者や貴族がぜいたくな暮らしをする一方で、平民は重税を課されていた。1789年、民衆の怒りが頂点に達し、フランス革命が起こり、〔② 宣言〕が発表された。
- (4) 1919年、ドイツで〔① 憲法〕が制定された。「全ての人に、人たるに値する生活を保障する」権利である〔② 権〕が認められた。
- (5) 日本では1889年に〔① 憲法〕ができた。〔② 国民主権 / 天皇主権〕だった。国民は天皇の臣下という意味で〔③ 〕と呼ばれていた。
- (6) 1948年に国連総会で、各国の人権保障の模範とすべき〔① 〕が採択された。これに法的な拘束力を持たせた〔② 〕が1966年に採択された。1989年には、子どもの人間としての権利や自由を尊重し、保護していくことを目的として〔③ 〕が採択された。

(1)① マグナ・カルタ(大憲章)	(1)② 清教徒革命(ピューリタン革命)	(1)③ 名誉革命
(1)④ 権利章典	(2)① ジョン=ロック	(2)② モンテスキュー
(2)③ 三権分立	(2)④ ルソー	(3)① アメリカ独立宣言
(3)② フランス人権宣言	(4)① ワイマール憲法	(4)② 社会権
(5)① 大日本帝国憲法	(5)② 天皇主権	(5)③ 臣民
(6)① 世界人権宣言	(6)② 国際人権規約	(6)③ 児童(子ども)の権利条約